

手話で語る

「関東大震災とろうあ者」

～あの日を忘れないために～

2019年9月1日(日)

午後1時～4時(12時開場)

渋谷区リフレッシュ氷川 1階集会室

整理券 1500円 定員 150人

(東京聴覚障害者自立支援センター

東京都聴覚障害者連盟にて販売)

※収益はたましろの郷へ寄付します。

関東大震災を体験した二人の聴覚障害者の話。

一人は殺され、一人は生き延びた。

生きた方は高増径草(たかます けいそう)、

広島原爆の絵画を描く。その二人の人生を軸に

関東大震災、東京大空襲について講演されます。

高増先生の教え子でもある山本康彦氏の講演、交えてのお話もあります。

主催:たましろの郷後援会 問い合わせ先:渋谷区東1-23-3 東京聴覚障害者自立支援センター内

TEL 03-5464-6055 / FAX 03-5464-6057 tamasiro@athena.ocn.ne.jp



講師 小菌崇明氏 (こぞの たかあき)

東京成徳大学人文学部日本伝統文化学科助教授
山本おさむの「わが指のオーケストラ」にある

『関東大震災朝鮮人大虐殺の際にろうあ者も殺された』ということが事実なのか? 関心を持ち
「虐殺された聾者」をテーマに研究する。



※手話通訳・要約筆記付き